

## Intertextile Shanghai Japan Pavilion 2026 秋展 開催概要

### インターテキスタイル上海 2026 秋展 概要

- ◇ 展示会名：Intertextile Shanghai Apparel Fabrics – Autumn Edition
- ◇ 会期：2026 年 8 月 25 日（火）-27 日（木）
- ◇ 主催：Messe Frankfurt（HK）Ltd.  
中国国際貿易促進委員会紡織行業分会（CCPIT）  
China Textile Information Center (CTIC)
- ◇ 会場：中國國家會展中心(上海)  
(National Exhibition and Convention Center(Shanghai)China)



### 第 25 回 Japan Pavilion 2026 Autumn Edition 開催概要

- ◇ 出展場所： 国際館内（Hall 5.1）
- ◇ 出展内容： ビジネスコーナー+PR コーナー
- ◇ 出展規模： 38 社（756 m<sup>2</sup>）\*ジャパン・トレンドコーナー等含む
- ◇ 主催： 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFWO）
- ◇ 後援(予定)：経済産業省、独立行政法人日本貿易機構（ジェトロ）

3 月に開催したインターテキスタイル上海アパレルファブリック 2026 年春展は盛況に幕を閉じ、参加者の多くにとって見どころの多い開催となりました。25 ヶ国・地域から約 3,000 社以上が出展し、123 ヶ国・地域から約 96,000 人の来場者が訪れました。中国市場は景気低迷と不動産不況などに伴う消費マインドの冷え込みにより、厳しい状況が続いています。しかし中国は世界最大のアパレル製造国・輸出国であると同時に、世界第 2 位のアパレル消費国でもあり、出展者の多くは「市場自体はまだまだポテンシャルがある大きい市場」と期待しています。

8 月 25 日から 3 日間、前回と同会場で、「インターテキスタイル上海アパレルファブリック 2026 秋展」が開催されます。今回の秋展には日本ファッション・ウィーク推進機構（JFWO）主催の「ジャパン・パビリオン」が 38 社（うち新規出展 4 社）／756 平方メートルの規模で出展します。新規出展者が増加し、数年ぶりの復活出展者も数社加わりました。ファッション市況が目まぐるしく変化する中、市場ニーズにクイックに対応する日本企業は高く評価されています。また、差別化商品を求めるバイヤーからは、機能性などの高付加価値を持つ日本企業の開発素材への期待は大きいと予想されます。



※2026 年 3 月開催 Photo

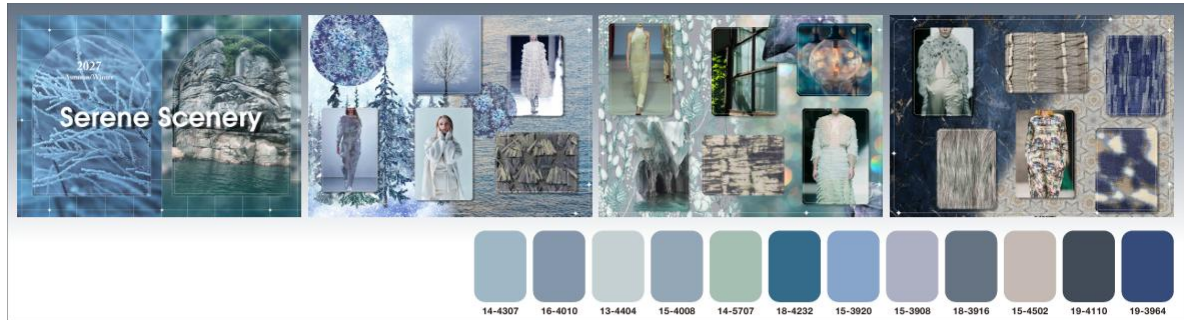
## JAPAN トレンドコーナー 2027AW のトレンドコンセプトは “疑問？問いかけ”

激動ともいえる時代。横断しながら常に今を見つめ、何かを感じ取らずにはいられない。自分には全く理解できないことを知ろうとします。今回の施工プランのテーマは「発見」。疑問の先にある可能性、その先に誘うイメージで、空間を演出します。

### ◆ 2027Autumn/Winter (4 テーマ) :

- ◇ 静寂な風景 - Serene Scenery -
- ◇ 喜びの豊潤 - Joyful Abundance -
- ◇ アートな探求心 - Playful Quest via Art -
- ◇ 記憶の美学 - Traces of Memories -

**Serene Scenery** - 静寂な風景



**Joyful Abundance** - 喜びの豊潤



**Playful Quest via Art** - アートな探求心



**Traces of Memories** - 記憶の美学



The above colours may not match PANTONE identified standards because of photocopy. Consider PANTONE TEXTILE Colour System® for accurate colours.  
※この資料内のカラーは「PANTONE TEXTILE Colour System®」を参照しています。カラーはコピーのため実際の色と異なりますので、必ず原稿のカラーチャートで確認ください。

## Japan Pavilion 出展企業は38社（うち4社初出展）新規出展の4社を紹介します

### ●出展者リスト ★新規出展

株式会社 アイリス、株式会社アクタスセコンド、朝日ファスナー株式会社、株式会社有延商店★、  
株式会社 ANTS JAPAN、合同会社インフィニット、宇仁繊維株式会社、株式会社 SVC、小原屋繊維株式会社、  
株式会社カジテック、清原株式会社、KIRARI 株式会社、クラブウ、株式会社クロップオザキ、桑村繊維株式会社、  
コスモテキスタイル株式会社、株式会社コゼット、株式会社サンウェル、山陽染工株式会社、株式会社 GSI クレオス★、  
柴屋株式会社、株式会社シャンプレー、株式会社 SHINDO、双日ファッション株式会社、卓 EDGE 合同会社、  
田村駒株式会社、株式会社チクマ、株式会社トスカバノック★、トスコ株式会社★、豊島株式会社、  
株式会社ニッケテキスタイル（ニッケグループ）、株式会社フライドプライド、ベリーテックス、前多株式会社、  
丸佐株式会社、MAYFIS（三政テキスタイル株式会社）、モリリン株式会社、株式会社ヤギ （50音順）

### ●株式会社トスカバノック/ 上海巴托服饰辅料有限公司 ～市場拡大を目指す

トスカバノックは現地法人に上海巴托服饰辅料有限公司があります。「約14億人の人口と中国国内で年間約200億枚生産されている市場に入り込んでいきたい」と、中国の市場性に期待しています。



世界で初めてハンドツールや糸ロックを開発した企業が出品する「ファスバノック 101」は半自動でタグを取り付けることが可能なハンドツールです。ハンディ式のグリップを握るだけで、ループの結束が可能です。値札、下げ札付けの作業効率が大幅にアップしました。また、「ITOLOX-RBシリーズ」は、ハサミを使用せずに千切ることが可能な糸ロックです。緊急需要品などの購入時に、すぐに使用できます。引っ張っても5kgfほどの強度を保てますが、簡単に切ることが可能な仕組です。「SPLIT PIN」はハサミを使用せず手で千切ることが可能なタグピンで、衣類を傷つけません。



### ●株式会社 GSI クレオス ～環境配慮意識が高い

GSI クレオスは、中国ビジネスに実績のある企業で、現地法人として GSI Creos China co.,ltd を有します。「成長していく市場で、特にスポーツ、アウトドア分野は伸び代が大きい」と見ており、ポテンシャルを感じています。

今回は環境配慮のリサイクルナイロンを経糸に、緯糸に世界一細いナイロン6仮撚り糸の平織りを提案。アクリルコー

ティングすることでハリコシがあり、コットンタッチになりました。また、経緯の糸にリサイクル Cordura を使った素材は、ウレタン通気性コーティングの特殊加工を施しました。ハリコシ感に、ドライタッチ、ストレッチ性も備えています。経緯にリサイクルナイロン 66 を使った平織 double RIPSTOP も特殊加工を施し、ハリコシ、ドライタッチ、ストレッチといった風合いを有しています。素材（糸）からとことん拘って作られた生地です。



#### ●株式会社有延商店～生地をストック

「オリジナルの生地をストックしているのが強み」というのは有延商店。小口の発注や、着分にも対応が可能で、「生地の販売」を目的に出展しました。同社が今回出品するインドパッチワーク（Indian patchwork Madras）は、インドで職人さんによりハンドメイドで作っている生地です。また、細番手で仕上げたシアサッカー生地のアアリーサッカーチェック（Airy Sea Soccer）は、見た目よりかなり透け感のある生地に仕上げました。さらにコットンシルクネップ（Cotton silk nep）も出展しますが、絹紡糸からの再生染料であるノイルシルクを使用しております。

同社は兵庫県下で先染め織物を中心に生地の生産や提案・オリジナルのテキスタイルの在庫保持など幅広く展開しています。生産は国内だけでなく、インドや中国などにおいてもグローバルな生産体制です。中国には南通易強対外貿易有限公司を有しています。



#### ●トスコ株式会社／ラミー紡績が得意

トスコは 100 年以上続くラミー紡績会社で、高い品質で管理された自社紡績糸を製造し、その糸を使用した生地の生産まで一貫して行っています。同社の三原工場で紡績したラミーの極細番手糸とラミーとカシミヤの細番手糸を交織したガーゼ調の生地を今回展で提案します。ラミーの涼やかさに加え、タンブラーで軽く揉みこみ、カシミヤのほんのり柔らかいタッチと光沢感を出しました。エアリーで優しい風合いが特徴の素材です。秋口や春先の両方使用頂ける素材です。

また、オリジナルのラミー/ウール混紡梳毛糸を使用した上品な光沢感のあるサージ生地も紹介します。ラミーのさらっとした光沢感とウールのしなやかさを感じる生地です。さらに、リネン原料とリアルシェットランドウール原料をブレンドした太番手の梳毛タイプの糸と綿糸とのダブルジャガードのジャージ素材も出品します。



プレスリリースに関するお問い合わせ先：  
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFWO）  
テキスタイル事業事務局  
[jp@japancreation.com](mailto:jp@japancreation.com)  
<https://www.jfwtextile.com>